

食道がん



市立大津市民病院では、食道がんに対する内視鏡治療・手術・放射線治療を組み合わせた高度な治療を安心して受けていただける体制を整えています。

食道がんは、食事のつかえ感などの症状をきっかけに発見されたときにはある程度進行していることが多く、難治性のがんとされています。しかし、決して不治の病ではなく、治療によって多くの方ががんを克服しています。食道がんの治療法は大きさや部位などにより多岐にわたります。からだに負担の少ない手術方法や放射線化学療法など様々な治療体制の整った当院へぜひご相談ください。

食道がんの治療法とは

早期がんの一部は内視鏡治療（胃カメラでの切除）で治癒が可能ですが、最も標準的な治療方法は、術前化学療法（抗がん剤）と手術を組み合わせる方法です。また、化学療法と放射線療法を組み合わせる化学放射線療法も病状によっては有効です。病状の進み具合と患者さんの年齢、体力や持病などを考慮して、最も良い治療法を相談させていただきます。

食道がんに対する内視鏡手術とは

内視鏡手術とは小さな切開創からカメラ（腹腔鏡・胸腔鏡）と手術器具を挿入して行う手術のことで、痛みが少ない、術後の回復が早い、術後肺炎が少ないといった長所があることが明らかになっています。また、カメラで拡大して見えるため、手術を従来よりも高い精度で行えるというメリットもあります。しかし、食道がんに対する手術は複雑で難易度が高いとされており、内視鏡手術を安全に行うためには高い専門的知識と診療経験が要求されます。当院ではチームを組んで治療にあたり、安心して治療を受けていただける体制を整えています。

当院の食道がん手術の特色

食道はくびからおなかにまで至る長い臓器です。従来、頸部、胸部、腹部のそれぞれの部位を切開することが必要で、外科手術の中でも最も体に与える影響が大きく、合併症率の高い手術とされてきました。大津市民病院では、内視鏡を用いることに加えて以下のような工夫を行い、従来法より体にやさしい食道切除手術が可能になっています。

- ① 完全内視鏡手術： 胸部、腹部ともに内視鏡を用いた小さなキズで手術を行います。
- ② 両側換気下手術： 術中も肺機能を保ったまま手術を行います。
- ③ 胸腔内吻合： くびの切開創を必要とせず食道を摘出、再建します

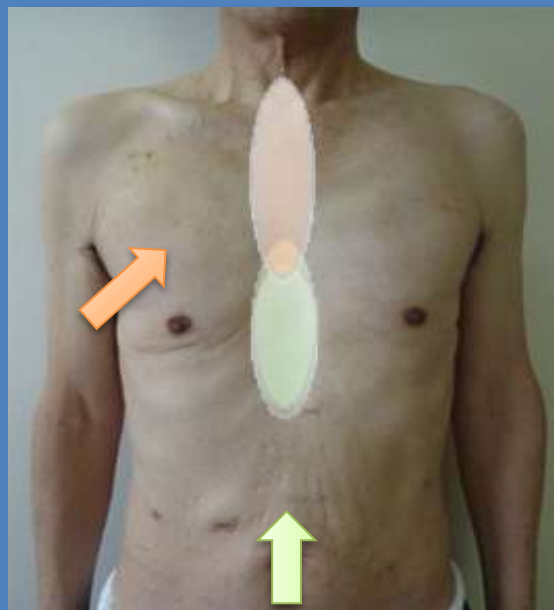
完全内視鏡下低侵襲食道切除術

胸腔鏡アプローチ

- ・ 胸部と頸部リンパ節を切除
- ・ 両肺換気で肺機能を保ったまま手術
- ・ 胸腔内で食道胃管吻合

腹腔鏡アプローチ

- ・ 腹部と下縦隔リンパ節を切除
- ・ 胃管を腹腔鏡下に作成



おおよその入院期間と費用について

手術名称	入院期間	点数	保険3割負担の方の概算費用 (限度額適用なしの場合)
腹腔鏡下食道悪性腫瘍手術	30日間程度	約30万点	約90万円～100万円

概算は、限度額を適応していない金額です。

※70歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約370万～770万円)の方で10万円前後です。

※70歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で57,600円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。

私

たちにお任せください



診療部長

光吉 明



診療部長
(乳腺部門)

橋 強